

里の大地

NO. 7

文責 酒井



学校では、毎朝の歌声が響き、合奏練習も始めた頃に比べるとまるで別の子どもが演奏しているようです。いよいよ音楽会が迫ってまいりました。楽器の持ち帰りの練習などお支えいただきありがとうございます。

これまでに5年生のキャンプや2年生の乗り物遠足、3年生の社会見学など学年の行事も行われました。また、PTA作業では、森・倉科の保護者の皆様と子どもたちのお力で草刈りをしていただき、学校や周辺の環境がとてもきれいになりました。ご協力ありがとうございました。今までの様子や、校長講話について紹介させていただきます。

キャンプで一回りたくましくなった子どもたち



軽やかな足取りで登山

心配された天気も何かに登り切りました。頂上で少し雨が降り出したので、頂上にある休憩所で昼のお弁当を食べました。下山後は、入所の式を行い、荷物整理をして、早速夕食に取りかかりました。7月に練習してあったため、見通しもあっておいしく食べることができました。協力し合って手際も良く、予定していた時間よりも早め早めに動くことのできる子どもたちでした。



夕食のカレー作り

キャンプファイヤーにお邪魔してみると、係の子どもたちが、打合せをしながらどんどん進めていてたくましさを感じました。きっとこの経験が自分たちで会を運営したり気付いて動いたりすることに繋がっていくことを確信する姿でした。



自力で作ったカレーで会食



<自分たちで進め楽しんだキャンプファイヤー>

公共交通機関を利用した自分たちの遠足(2年生)



2年生はしなの鉄道を利用し、自分で切符も買って小諸の懐古園まで行ってきました。遊園地では乗り物に乗って楽しみました。グループでの行動ということで、お互いを気遣いながら、仲間のことを大事にして乗ったり待ったりして笑顔の遠足になりました。動物園では見たりふれたりしながらいろいろな動物に出会うことができました。初めて切符を買う子も多くいて、ちょっと緊張もしたようでした。貸し切り列車ではないので、一般の方も一緒に利用する電車。大声で話すこともなく次々に変わる景色にいろいろなものを発見しながら遠足を満喫した子どもたちでした。

体験もしながら学んだ社会見学(3年生)



手作り体験

昔の道具の発展を聴く

地形の模型で学習

3年生は社会の学習のために、見学に行ってきました。話を聞いたり、展示物から学んだり、手作りの体験をしたりしながら学んできました。教科書や資料だけでは実感が湧かないものも直に触れてみたり、生活に応じて道具が発展してきたことを聴いたりしながら今までの学習やこれからの学習に繋げていってほしいと思います。

特に体験のコーナーでは目をキラキラさせて取り組んでいて、体験的な学び方のよさも感じられたようでした。



PTA作業ありがとうございました

前日までの雨が少し残る中での作業でした。森・倉科の保護者の方と6年生、そして施設部員の方々ののおかげで、雨でよく伸びてしまった草を一気にきれいにしていただきました。普段手の回らず、うっそうとした茂みになっていた土手周辺がすっきりと見通せるようになり、本当に助かりました。すっきりしない天気の中でしたが、草刈り機やトラックも多数の方にお持ちいただき、凄い量の草を刈っていただき、整備していただきました。心より感謝申し上げます。

音楽会に寄せて

～校長講話より～

【心に届く演奏を】

毎朝、歌声がどのクラスからも聞こえてきます。また音楽会に向けて、休み時間も楽器の練習をしている人が大勢います。

10月19日（金）には音楽会がありますね。そこに向けて全校で取り組んでいます。みなさんは歌や楽器の演奏を聴いて感動したことはありますか？

聴く人の心に届く演奏と、上手な演奏は似ているようで少し違うように思います。心に届く演奏にしたいですね。

歌には歌詞があり、言葉に込められた思いがあります。また、合奏など楽器の曲にもメロディー込められたメッセージがあります。

思いやメッセージを大事にして演奏したら、きっと聴く人にも伝わっていくと思います。

そして直に聴き、見ることができる音楽会は歌や楽器の演奏をしているみなさんの姿やみなさんのつくり出す雰囲気から、曲に込めた思いを感じることができると思います。

みなさんの一生懸命な姿や、思いを込めた歌い方、心を合わせた楽器の演奏などが演奏するみなさんの生の姿から伝わってくるのです。お家の方もきっと楽しみにしていることと思います。

そこで、歌の言葉（歌詞）を書き出してみて、どんな意味の言葉なのかを調べるのもその曲をわかり直すことになると思います。

そして歌いながらみんなで考えてみてはどうでしょう。

楽器は、指や手、体を使って演奏したり、息を吹き入れて演奏したりします。歌のように体全体を楽器のようにして音を出すものとは少し違います。普段使い慣れないので、みなさんもよく休み時間を利用して練習をしています。やればやっただけ指が動いたり、難しいと思っていたものができたりします。そこを乗り越えれば、なめらかさや速さ、音の強い弱いを工夫した演奏ができるようになり気持ちも込められるようになってくると思います。

今日は、みなさんも音楽会で、会場にいる方と全員で歌う『ふるさと』について改めて歌のことは＝歌詞について見直してみようと思います。

- 1 うさぎ 追いし・・・・・・・・
- 2 いかにいます 父母・・・・
- 3 志を果たして・・・・・・・・

- 1 野うさぎ狩りで、うさぎを追いかけた、故郷のあの山
晩御飯のおかずにする鮎を釣りに出かけた、故郷のあの川
今では夢で見るしかできないけれど、
忘れる事のできない故郷の景色
- 2 お父さん、お母さんはどうしているだろうか
一緒に遊んだ友達は、あの頃と変わらずに元気だろうか
雨が降ったら、故郷の雨の日を思い出し、
風が吹いたら、故郷の風を思い出す
毎日の、ふとしたことで思い出すのは故郷の景色

- 3 故郷を離れて都会に出て、一人前の立派な社会人になり、
いつか、ひとつでも大きな仕事を成し遂げたら、
故郷に帰ろうと思う
緑の美しい、あの故郷へ
澄んだ水の流れる、あの故郷へ

このように、歌の意味がわかってくると『そうだったのか』『こんな気持ちで歌えたらいいな』と思えてきてその歌がもっと好きになって思いをこめて歌うことができると思います。

合奏などの楽器の曲も演奏できるようになり、みんなでそろえられるようになってくると、『もっと～になるようにしたいなあ』その曲が自分の体に入ってきて口ずさんだりします。自分の曲・自分たちの曲になってくると思います。そうするとその曲が好きになってきます。

あとちょうど1か月

二学期の初めに話しをしました一人一人がめあてをもって、
みんなで心をつにしていけることを積み上げていってください。

思いのこもった 歌声や 楽器の音色を聴く人の心に届けましょう。
きっとみなさんの演奏は、すてきな音楽になっていると思います。
そんな音楽にみんなでしていきましょう

音楽会お待ちしております

いよいよ明日は音楽会です。学年によっては1学期から曲を決めて取り組んで来ました。楽器を毎日のように持ちかえって練習してきた子どもたちも大勢いました。明日は、聴く人の心に届く演奏や歌声になることと思います。ご都合をつけてご来校くださいますようお願い申し上げます。

今年度から子どもたちも椅子席となりました。フロアーが今までより手狭かと思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

